

『オープンサイエンスデータ推進ワークショップ』

日時： 2015年9月17日(木) 10:00-17:30 (懇親会：18:00-20:00)
9月18日(金) 10:00-17:00

場所： 京都大学理学研究科セミナーハウス
(http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_n.html中の建物番号10番)

主催： 京都大学理学研究科附属地磁気世界資料解析センター
(ICSU-World Data Systemメンバー)

共催： 京都大学学際融合教育研究推進センター
ICSU-World Data System (国際科学会議-世界科学データシステム)
京都大学宇宙総合学研究ユニット

ワークショップ世話人： 家森俊彦・能勢正仁 (京都大学理学研究科)
(問い合わせ先メールアドレス：iyemori@kugi.kyoto-u.ac.jp)

趣旨：

科学データを適切な形で公開することのメリットは非常に大きく、デメリットを上回る。そのため、多種大量のデータ、分野をまたがる複数のデータベースを統合的に取り扱うためのシステム開発や、データベースに識別子(具体的にはDOI: Digital Object Identifier)を付与し、論文でデータ引用を行う動きが世界的に加速している。これらシステムは、学際研究の推進、研究結果の検証などを効率的に行うために必要であるだけでなく、研究者、技術者の評価にも結びつく。しかし、「オープンサイエンスデータ」の動きは、我が国では「データ公開」として、主に行政や公共サービス関連のデータ公開に矮小化される傾向があり、サイエンスデータに関しては、欧米に比べ大きく立ち後れている。そこで、オープンサイエンスデータを、大学および関連の研究機関から推進するため、ポリシーから技術的問題に至るまで、広く情報交換を行うとともに、推進に向けた学内外のネットワーク形成を目指す。特に、次の項目に重点を置いて、講演と意見交換を行う。

- (1) データ出版の国際的状況と我が国における取り組み
- (2) メタデータの登録、および、それを用いたデータベース公開と利用の取り組み

(注) 参加講演申し込みは既に締め切っておりますが、当日ご参加も歓迎です。
なお、懇親会(会費4300円)に参加される方は、9/11までにご連絡願います。

プログラム(案)

9月17日(木)

- | | |
|-------------|---|
| 9:30- | 受付開始 |
| 10:00-10:20 | 趣旨説明・他 家森 俊彦 (京大・理) |
| 10:20-11:00 | 学術データ保全事業ICSU-WDSと関連データ活動について(*)
村山 泰啓 (情報通信研究機構) |
| 11:00-11:40 | オープンサイエンスに向けた京都大学のオープンアクセス方針(*)
引原 隆士 (京都大学図書館機構長) |
| 11:40-12:20 | 異分野融合の実践：学際センター紹介(*)
宮野公樹 (京都大学学際融合教育研究推進センター) |
| 12:20-13:30 | 昼食 |
| 13:30-14:10 | 研究データへのDOI登録 ～JaLCのセカンドステップ～(*)
中島 律子 (科学技術振興機構) |
| 14:10-14:40 | データへのdoi付与とデータ引用について：超高層物理学分野における活動
能勢 正仁 (京大・理) |

- 14:40-15:20 オープンサイエンスへのコンバージェンス
～同床異夢から共通認識を醸成するコミュニティの形成～(*)
北本 朝展 (国立情報学研究所)
- 15:20-15:40 休憩
- 15:40-16:10 研究者識別子の重要性とORCIDアップデート
蔵川 圭 (国立情報学研究所)
- 16:10-16:40 環境に係る課題解決のための協働とビジネス連携の観点からのオープンサイエンスの課題と提案
西村 一 (海洋研究開発機構)
- 16:40-17:10 総合地球環境学研究所におけるオープンサイエンス実現に向けた取り組み
近藤 康久 (総合地球環境学研究所)
- 17:10-17:40 コメント・他
林 和弘 (科学技術動向研究センター)・他
- 18:00-20:00 懇親会 (北部生協2階)

9月18日(金)

- 9:30- 受付開始
- 10:00-10:10 本日の予定・他 家森 俊彦 (京大・理)
- 10:10-10:40 白浜海象観測所における現地観測と観測データの公開
馬場 康之 (京都大学防災研究所白浜海象観測所)
- 10:40-11:10 地球環境情報統融合プログラム(DIAS-P)におけるメタデータ管理と運用
絹谷 弘子 (東京大学地球観測データ統融合連携研究機構)
清水 敏之 (京都大学大学院情報学研究科)
- 11:10-11:20 休憩
- 11:20-11:50 FREEDxDOM: 異分野間で使える研究データの汎用フレームワーク構築を目指して
池田 大輔 (九州大学大学院システム情報科学研究院)
- 11:50-12:20 超高層大気物理学における学術情報基盤の構築
小山 幸伸 (新領域融合研究センター)
- 12:20-12:50 International Collaboration in the Framework of Open Science
Bernd Ritschel (GFZ Potsdam)
- 12:50-13:40 昼食
- 13:40-14:10 京大RISHにおける大気レーダー観測データベースの公開
橋口 浩之 (京都大学生存圏研究所)
- 14:10-14:40 IUGONETの目的と現状 (仮題)
中村 卓司 (国立極地研究所)
- 14:40-15:10 IUGONETデータ解析ソフトを利用した太陽地球系結合研究
新堀 淳樹 (京都大学生存圏研究所)
- 15:10-15:40 IUGONETメタデータ・データベースにおけるメタデータ公開の方法とデータ利用の更なる向上に関する検討
梅村 宜生 (名古屋大学太陽地球環境研究所)
- 15:40-15:50 休憩
- 15:50-16:50 オープンサイエンスデータ推進のための今後の行動計画について
(予算獲得、共同研究、次回ワークショップ?)

(終了)
